

個人質問



小野崎正喜 議員

の育成については、職員に先進地の視察などもしっかりとさせ、知識を蓄積させていきたいです。

**Q** 最新の技術として、木質繊維断熱材が注目されている。間伐材を単なるチップにしても安くしか売れないが、断熱材にするとチップの10倍の付加価値が付き、木質バイオマスのコスト高にも十分対応できるとのこと。

**A** 市長 知らない新技術なので勉強していきたいです。

**Q** コミュニティ施設に非常用電源装置の設置を

各地区のコミュニティ施設や集会場に非常用電源として、太陽電池と蓄電施設を設置し、災害時にも必要最低限の電源を確保して、地域の避難拠点として活用するとともに、未使用時には売電をして、その収益を区や自治会の活動費の補充としてはどうか。

また、自然エネルギー活用の先進地として有名な岩手県葛巻町では、この3月末までに全町25カ所の集会場に太陽電池パネルと蓄電池を設置して、停電時でも、集会場の照明や暖房、テレビの電力を、二、三日は自力で賄えるようにし、この4月から順次、運用を開始したとのこと。通常は売電をして、各地区の活動資金に充てる方針で、年間の額で、自治会ごとに20万円から30万円の確保を見込んでいるとのこと。

**Q** 総合計画について  
平成20年度市総合計画が策定され早5年、その観点から、市長は住民サービスをどのように考えているのか。

**A** 市長 限られたコストの中で、できるだけ大きなサービスを提供していくことが、私どもの務めだと考えています。できるだけ無駄を省き、あれもこれもという時代から、選択と集中の時代になっていくと思えますが、できるだけ市民サービスに努めていきたいと考えています。

**Q** 市民による市民サービス  
の向上を考えたが、質問させていたのですが、総合計画の中での消防・防災対策の充実の中で、現在の自主防災組織の数と、その主な役割は。

**A** 総務部長 現在、山武市の自主防災組織の合計は38です。地域別に成東地域が20、蓮沼地域14、松尾地域が4組織です。

**Q** 先日の区長会において、市長から各区に防災組織を作ってほしいというお話をされたようですが、その内容は。

**A** 総務部長 御近所の方が力を合わせて、組織的に避難誘導、初期消火あるいは救出救助の役割を担う活動が必要だと思っておりますので、今ある自治会、自治会相互の中で、自主防災組織を設立し、地域の防災力を高めていきたいということです。

**Q** 環境と安全なまちづくりの中で、環境美化や自然環境保全に参加している団体は幾つあるのか、また、どのような活動をされているのか。

**A** 経済環境部長 市内のボランティア活動など、社会貢献活動の中で、環境美化や自然環境保全団体は、31団体です。その団体の活動内容と団体数ですが、自然環境保全活動に9団体、景観整備及び里山の整備に9団体、環境美化活動に4団体、海

**Q** 現在、市民提案型まちづくり事業を行っているが、その内容と成果、事業費の総額はどうか。

**A** 総務部長 平成23年度までは、大きく2つに事業種目として分けていました。1つは、市民提案型まちづくり事業で、平成20年度から実施しており、補助金の限度



市民提案型まちづくり事業成果報告の様子